

学校保健委員会だより

令和7年12月
コミュニティ・スクール
上尾市立上尾小学校

11月21日（金）、上尾中学校区小中合同学校保健委員会がありました。「ICT 利用における健康被害と家庭でのルールづくり」をテーマに、教職員、保護者、学校医による意見交換や、講演会が行われました。

「ICT 利用における健康被害と家庭でのルールづくり」

講演会の前に、まずICT利用の現状と課題について考え、グループに分かれて意見交換をしました。

- ・スマホのトラブルについて、学校でのアンケートでは「ない」と答えていても、実際は起きている。SNSを通して子供同士で何を話しているのか分からないし、見えないことがこわい。
- ・「みんな持っているから自分も欲しい」と言われると、子供が仲間に入れなくなるかもになってしまう。
- ・学校でのICT機器の制限と家庭での制限について、連携させたほうがいいかもしれない。 など

また、保健主事の情報提供では、すでにICT機器を渡している状態からルールづくりをするのは困難かもしれないが、管理者は保護者であること、使い方によっては心身に悪影響があることを子供に伝え、利用状況の確認や、守れない時は一度回収して話し合うことが大切だと話がありました。

★ネットトラブル防止のために

ネットアドバイザーの須賀聡様より、ネットトラブル防止のために、気を付けてほしいネット上での個人情報の取り扱いやコミュニケーション、ネット依存などについてご講演いただきました。

身体への影響は？

長時間のICT機器使用により、斜視や視力低下、うつ病、睡眠障害、ストレートネック、学力低下、精神的な負担などが起きる。

高周波の影響

スマホの周波数は、2GHz以上であり、これは、電子レンジから出る電波を超える周波数です。微弱電波でも長時間、長期間浴びていると…。電磁波の影響については、WHOも認めているそうです。

子供に身につけさせたい力～ルールづくりの参考に～

ICT機器は、楽しさや便利さの反面、気を付けなければいけないことがたくさんありました。子供には、判断力、自制力、責任能力などを身につけてもらいたいので、家庭でのルールづくりが必要であり、大人も気を付けていかなければなりません。参考として、群馬県の取り組んでいる、インターネットを安全に使うための「おぜのかみさま」をご紹介します。ぜひ、家庭でのルールづくりをお願いします。

参加者の感想

- ・ICTによるトラブルは考えるが、健康被害は考えもしませんでした。改めて扱い方に気をつけながら利用したり、利用させなければと思いました。
- ・依存症になってしまったらそれまで依存してきたものを断つ以外に治療法はないと伺い、一度壊れてしまったものは簡単には治せないのだなと思いました。だからこそ深入りしないためのルールづくりや指導を家庭、地域、学校が協力していく必要があると思いました。一度に変えることは難しくても根気強く繰り返し伝えていくしかないのかなと思います。

